

新型コロナウイルス感染症に罹患された方々およびそのご家族に謹んでお見舞いを申し上げます。全世界における新型コロナウイルスの脅威が一日も早く収束を迎えることを心からお祈り申し上げるとともに、治療や感染拡大防止のため職務を果たしてくださっている医療従事者・関係者の皆様をはじめ、ご尽力いただいているすべての皆様に、心から感謝申し上げます。

目次

1	企業理念		
2	コーポレートステートメント		
3	統合報告書2020のコンセプト／編集方針		
■ 日本ユニシスグループが培ってきたもの			
4	日本ユニシスグループの成長の軌跡		
6	価値創造プロセス		
8	ビジネスモデル解説		
10	強み		
12	財務ハイライト		
14	非財務ハイライト		
■ 日本ユニシスグループは どんな未来を見ているか			
16	CEOメッセージ		
22	中期経営計画		
30	ワクワクする未来へ		
32	Foresight in sight story 1	ネオバンク	
34	Foresight in sight story 2	デジタルアクセラレーション	
36	Foresight in sight story 3	スマートタウン	
38	Foresight in sight story 4	アセットガーディアン	
40	CFOメッセージ		
			■ 日本ユニシスグループの サステナビリティを支えるしくみ
		43	サステナビリティ経営
		46	社会
		50	環境
		52	日本ユニシスを厳しく見つめ、強く支える ～CEO・社外取締役 座談会
		56	コーポレート・ガバナンス
		64	リスクマネジメント
			■ データ
		72	事業概況
		74	財務11年間サマリー
		76	連結財務諸表
		80	ESG情報
		82	会社情報

主な外部評価

			
2019年度 女性が輝く先進企業 表彰 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画) 表彰	令和元年度なでしこ銘柄 (準なでしこ) (経済産業省、東京証券取引所)	平成30年度新・ダイバーシティ 経営企業100選 (経済産業省)	プラチナくるみん認定 (厚生労働省)
			
えるぼし認定 (厚生労働省)	イクメン企業アワード2018 両立支援部門グランプリ (厚生労働省)	PRIDE指標2018 最高評価ゴールド (work with Pride)	健康経営優良法人2020 (経済産業省、日本健康会議)
			
	女性活躍パワーアップ大賞 優秀賞 (公益財団法人 日本生産性本部)	テレワーク先駆者百選 総務大臣賞 (総務省)	

企業理念

わたしたちが社会に果たすべきこと

**すべての人たちとともに、
人と環境にやさしい社会づくりに貢献します**

わたしたちが目指すこと

**社会の期待と要請に対する感性を磨き、
そのためにICTが貢献できることを考え抜く集団になります**

わたしたちが大切にすること

1. 高品質・高技術の追求

社会に役立つ最新の知識を有するとともに、技量を高めます

2. 個人の尊重とチームワークの重視

相手の良い点を見いだし、それを伸ばすことを奨励し合い、互いの強みを活かします

3. 社会・お客様・株主・社員にとり魅力ある会社

ステークホルダーの声に真摯に耳を傾け、企業価値向上に努めます

コーポレートステートメント

Foresight in sight

このコーポレートステートメントは、日本ユニシスグループの目指す姿を表現しています。‘Foresight’「先見性」は、業界の変化やお客様のニーズ、これからの社会課題を先んじて想像し把握するという意味、そして ‘in sight’ は「見える・捉えることができる」という意味と、‘insight’「洞察力」の意味を合わせたダブルミーニングとなっています。

次代を見通す先見性によって、いち早くキャッチしたお客様や社会の課題を、経験や常識にとらわれない洞察力で深く理解し、私たちのもつICTアセット、知恵や発想を組み合わせ、お客様に最もふさわしい形のソリューションやサービス、そして新しいビジネスモデルやビジネスエコシステムを提供するという、想いが込められています。

統合報告書2020のコンセプト

日本ユニシスグループが培ってきたもの

日本ユニシスグループは、設立以来60年以上にわたり、システムインテグレーターとして日本の情報化社会や産業を支えるシステムを構築してきました。そのなかで培ってきた4つの強みを活かし、「注力領域」と「ICTコア領域」における事業活動を通じて、顧客課題の背景にあるさまざまな社会課題を解決することで、社会的価値と経済的価値の創出に取り組んでいます。

日本ユニシスグループはどんな未来を見ているか

当社グループは、2018年度から開始した中期経営計画「Foresight in sight 2020」において、自らの存在意義を「顧客・パートナーと共に社会を豊かにする価値を提供し、社会課題を解決する企業」と再定義しました。ビジネスエコシステム®の中核となるプラットフォームを構築し、社会課題を解決する共有財として提供することで、一人ひとりがコミュニティへの積極的な参画意識を持てる、「ワクワクする未来」へ向けた社会の仕組みづくりを進めています。

日本ユニシスグループのサステナビリティを支えるしくみ

当社グループは、持続可能な社会の実現が企業の持続的な成長の基盤であるとの認識のもと、環境・社会および当社グループ相互のサステナビリティを追求していきたくと考えています。また、当社グループが持続的に企業価値を向上させていくためには、イノベーションを生み出す人財戦略に加え、適正かつ有効なコーポレート・ガバナンスや、潜在的な事象を予測し、損失の回避・低減を図るリスクマネジメントが不可欠であり、その強化に向けさまざまな施策に取り組んでいます。

編集方針

本報告書は、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆様には、日本ユニシスグループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みと、社会的価値と経済的価値の両立を実現するプロセスについて、理解を深めていただくことを目的として発行しています。「統合報告書2020」では、「価値協創ガイダンス」、「国際統合報告フレームワーク」などのガイダンスを参考にし、当社グループの価値創造プロセスにおいて特に重要性の高いものについて、財務情報と非財務情報を交えてご紹介していきます。より詳細な情報については、当社Webサイトをご参照ください。

P.82 財務・非財務情報開示のツール

■ 報告対象範囲

原則的に、当社およびグループ会社（連結子会社および非連結子会社）とし、範囲が異なる場合は、個々にその旨を明記しています。

■ 報告対象期間

原則的に、2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）とし、必要に応じて過年度の活動や2020年度以降の状況についても掲載しています。

■ 参考にしたガイドライン

- 国際統合報告評議会（IIRC）
「国際統合報告フレームワーク」
- GRI「サステナビリティ・レポートニング・スタンダード」
- ISO 26000 / JIS Z 26000
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」

■ 発行

2020年10月



将来情報に関する注意事項

本報告書に記載されている当社およびグループ会社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的な事実でないものは、将来の業績などに関する見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいています。実際の業績などはリスクや不確定要素の変動および経済情勢などの変化により、見通しと異なる可能性があり、当社グループとしてその確実性を保証するものではありません。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本報告書は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本報告書利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。